

議 事 録

会 議 の 名 称	第9回小川北学区義務教育学校開校準備委員会																																																
開 催 日 時	平成31年2月26日(火) 19時00分～																																																
開 催 場 所	小川文化センター アピオス 小ホール																																																
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小石川寛則</td> <td>小川 勲</td> <td>石井 正道</td> <td>吉田 洋子</td> </tr> <tr> <td>片岡 友加</td> <td>芝田 健二</td> <td>戸塚 良和</td> <td>市根井克年</td> </tr> <tr> <td>成井 志野</td> <td>藤田 康広</td> <td>新井 淳子</td> <td>小森 真史</td> </tr> <tr> <td>久保田達雄</td> <td>長谷川美智子</td> <td>佐藤 正</td> <td>萩野谷邦夫</td> </tr> <tr> <td>中村喜代美</td> <td>皆藤 正造</td> <td>野尻 秀子</td> <td>田口 智也</td> </tr> <tr> <td>萩原 栄</td> <td>小川 和夫</td> <td>中川 稔</td> <td>菅谷 正治</td> </tr> <tr> <td>鳥羽田 力</td> <td>藤井 敏生</td> <td>長島 幸男</td> <td>幡谷 好文</td> </tr> <tr> <td>石井 旭</td> <td>山本 洋平</td> <td>堤 憲之</td> <td>高野 晴夫</td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>長谷川明美</td> <td>三代田 久</td> <td>沼田 和幸</td> <td>文倉 吉雄</td> </tr> <tr> <td>中根 啓二</td> <td>佐川 竜二</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>白井 律子</td> <td>植松 雄一</td> <td>藤田 誠一</td> </tr> <tr> <td>長谷川勝彦</td> <td>植田 薫</td> <td>内田 真基</td> <td>入野裕美子</td> </tr> </table> <p>【その他】 (楠山設計) 青木 伸美 寺林 大樹</p>	小石川寛則	小川 勲	石井 正道	吉田 洋子	片岡 友加	芝田 健二	戸塚 良和	市根井克年	成井 志野	藤田 康広	新井 淳子	小森 真史	久保田達雄	長谷川美智子	佐藤 正	萩野谷邦夫	中村喜代美	皆藤 正造	野尻 秀子	田口 智也	萩原 栄	小川 和夫	中川 稔	菅谷 正治	鳥羽田 力	藤井 敏生	長島 幸男	幡谷 好文	石井 旭	山本 洋平	堤 憲之	高野 晴夫	長谷川明美	三代田 久	沼田 和幸	文倉 吉雄	中根 啓二	佐川 竜二			加瀬 博正	白井 律子	植松 雄一	藤田 誠一	長谷川勝彦	植田 薫	内田 真基	入野裕美子
小石川寛則	小川 勲	石井 正道	吉田 洋子																																														
片岡 友加	芝田 健二	戸塚 良和	市根井克年																																														
成井 志野	藤田 康広	新井 淳子	小森 真史																																														
久保田達雄	長谷川美智子	佐藤 正	萩野谷邦夫																																														
中村喜代美	皆藤 正造	野尻 秀子	田口 智也																																														
萩原 栄	小川 和夫	中川 稔	菅谷 正治																																														
鳥羽田 力	藤井 敏生	長島 幸男	幡谷 好文																																														
石井 旭	山本 洋平	堤 憲之	高野 晴夫																																														
長谷川明美	三代田 久	沼田 和幸	文倉 吉雄																																														
中根 啓二	佐川 竜二																																																
加瀬 博正	白井 律子	植松 雄一	藤田 誠一																																														
長谷川勝彦	植田 薫	内田 真基	入野裕美子																																														
協 議 案 件	配置、平面計画について																																																
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 他)																																																
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)																																																

【委員長あいさつ】

今年度最後の準備委員会となります。

お忙しいなか、ご出席いただきありがとうございます。

今回は、前回の委員会で色々ご意見をいただきましたものを、設計において修正しております。

委員会の前に、設計事務所と学校において、設計の協議を行ない、学校運営で対応するものと、設計において修正するものとを区別いたしましたので、説明を聞いていただき、ご意見やご質問等を出していただき、平面計画のまとめとさせていただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

【協 議】

配置・平面計画について

【資料 1】に基づき、これまでの準備委員会での検討経過について、事務局より説明。

【資料 2 - 1】、**【資料 2 - 2】**に基づき、設計事務所より説明。

楠山設計 前回の委員会で皆様からいただいたご意見について、設計に反映したので、順に説明させていただく。

内容によって、学校運営での対応となっているため、学校からの説明をお願いしたい。

皆様からいただいたご意見は、**【資料 2 - 1】**に6項目にまとめ、整理した。ご意見を反映した図は、**【資料 2 - 2】**に明記しているので、合わせてご確認いただきたい。

(1) 児童生徒の見守りや安全面

学 校 「校務センターからサブグラウンドが見えず、看護面が心配である」との意見であるが、学校では、サブグラウンドで児童が遊ぶ際には、教職員が近くで見守ることが基本である。

下吉影小学校の現状を説明すると、休み時間に児童だけで外で過ごしているということはない。児童が外へ出て遊ぶ際には、必ず担任、あるいは教務主任等が外へ出て見守るという体制をとっている。

その理由として、1つ目は、児童と教職員の人間関係が作られるということ、2つ目は、怪我や喧嘩等のトラブルにも迅速に対応できるということ、3つ目は、不審者への対応ができるということなどが挙げられる。

楠山設計 保健室とサブグラウンドの関係について、(1)においても、「看護面が心配である」というご意見をいただいた。**【資料 3】**の配置図をご覧くださいと分かり易いと思うが、学校のメイングラウンドとサブグラウンドは広さの規模が違うため、メイングラウンドでの安全対策を優先し、保健室は、既存の南面とする配置を優先している。

また、サブグラウンドから保健室へは、新校舎を経由するのではなく、体育館よりの出入口から直線的に移動することができる。

学 校 「1・2年教室と校務センターの距離が遠いため、1・2年教室の近くに教職員の待機場所を整備できないか」という意見であるが、学校の現状としては、特に低学年の担任は、児童とともに過ごしているため、休み時間等に職員室へ戻るということはありません。

また、担任が教室にいられない場合には、他の教職員が教室にいるよう対応し、教室内に児童のみしかいないという状況を極力つくりたくないようしている。

楠山設計 サブグラウンドから北側の車道への飛び出しについてご意見をいただきました。

ご意見を反映し、新校舎と放課後子どもプランの間には、飛び出し防止の対応をさせていただく。

(2) 来校者対応

楠山設計 前回の図面では、児童生徒用の昇降口と来校者の出入口が分離されていなかったため、校務センターの北側に来校者と職員用の出入口を新たに設ける。

また、PTA会議室について、前は、多目的ホール側の会議室を「PTA・会議室2」と表記していたが、表記を改め「会議室2」とし、校長室に近い「応接室・会議室1」とともに、使用用途に合わせて活用していただくこととする。

(3) 外構

楠山設計 正門に近い横断歩道の位置についてご意見をいただきました。

これに関しては、敷地外のこともあり、関係機関、警察署ともっとも安全な対策がなされるよう、協議をする。

また、学童への出入口についてご意見をいただきました。

図面上では、出入口Aと表記しているが、昇降口で靴を取ってこちらから出ることになる。

(4) サブグラウンド

楠山設計 人工芝の仕上げのご提案をいただきました。

設計としては、実施設計の中での具体的検討となる。

学 校 「サブグラウンドは、児童が裸足で歩けるよう、人工芝としてほしい」との意見であるが、健康のために、裸足で歩けるようにという意見であったかと思うが、仮に、サブグラウンドが人工芝となったとしても、グラウンドは、特に冬の時期は土埃が溜まりやすいという点もあるため、校舎の汚れを考慮し、サブグラウンドは外履きとしたいと学校側では考えている。

楠山設計 校舎間の車両の出入りについて、ご意見をいただきました。

前回の図面の中庭の遊具等のレイアウトを整理して必要な時には、車両の乗り入れが可能な配置としている。

学 校 「1、2年教室からサブグラウンドへの出入りとして、通用口Bを使用してはどうか。また、学童へも、通用口Bから出入りし、通用口Bから学童までの間に屋根を設置してはどうか」という意見であるが、確かに、教室からサブグラウンドや学童へ出る際、通用口Bを利用できると、時間短縮になると思うが、通用口Bを常に開錠しておくというのは、校舎の防犯上の心配であり、懸念の方が大きい。

また、通用口Bを開錠しておく、通用口Bから近い2年生教室の担任に、見守り等の負担がかかるという懸念もあるため、多少回り道にはなるが、出入りは通用口Aを利用した方が良いという意見で、学校側ではまとまった。

楠山設計 出入口Bについては、2階から降りてくる階段からの非難口なので、内部から出られるような建具となる。

(5) 図書室

楠山設計 図書室の照明についてのご意見をいただいた。

こちらの会場のように天井の高い部屋を設計するケースが多々あるので、メンテナンスと照度に配慮した相応しい器具を選定することになる。

また、図書の蔵書数についてのご意見をいただいたが、蔵書数については、1階と2階の図書室で十分な対応が可能であることを確認した。

(6) トイレ

学 校 「トイレの洋式と和式、ひとつは和式があってもよい」という意見であるが、昨今は、衛生管理面という観点から、洋式が一般的となっているため、学校側としては、洋式のみで良いと考えている。

また、小川北中学校の体育館には、和式もあり、児童が和式の使い方を練習する際には、こちらで対応できるため、新校舎のトイレは、全て洋式で良いと考える。

楠山設計 以上を、前回の平面図に対するご意見の反映についての回答とさせていただきます。

委員長 説明の内容や、学校側の考えについて、意見や質問等はあるか。

委 員 男子トイレの件について、子どもたちの個室に入ることへの恥ずかしさを考慮し、全て個室にしてはどうか。

楠山設計 昨今の家庭はほとんどが洋式であり、洋式を使用できないということはないと思うが、設計の面では、全て個室にした場合、便器の数が少なくなってしまうという懸念がある。

委員長 そのため、個室の便器と小用便器の個数を同一とするのが一般的である。市内では、堅倉小学校が全て個室としているが、実際に使用していて、数が少なく、使いづらいという反省点を踏まえ、竹原小学校では、個室と小用便器とを分けている。

この点については、設計事務所と学校で改めて協議し、どちらの方が使い

やすいのかを検討したいと思う。

また、子どもたちの恥ずかしさという面に関しては、生徒指導上の問題と捉えながら、学校側としても対応を検討していきたい。

委員長 【資料2-1】、【資料2-2】について、ほかに意見等はあるか。

— 意見等なし —

委員長 それでは、資料のとおり計画を進めさせていただく。

続いて、【資料3】～【資料6】について、設計事務所から説明をお願いしたい。

【資料3】～【資料6】に基づき、設計事務所より説明。

委員長 意見や質問等はあるか。

— 意見等なし —

委員長 それでは、資料のとおり計画を進めさせていただく。

その他

来年度以降の準備委員会スケジュールについて

【資料7】に基づき、来年度以降の準備委員会スケジュールについて、事務局より説明。

【教育長あいさつ】

長期に亘り、さまざまなお審議ありがとうございました。

平成22年に、子どもの数が減少している実状を踏まえ、「学校規模配置適正化計画」として、審議をいただきました。

実際に市内では、来年度、新入生がいらないため、入学式ができないという学校が1校出てきました。このような状況は、今後も続いていくと思います。

これまで、慎重かつスムーズに協議を進めていただき、ありがとうございました。おかげさまで、学校の平面計画ができあがりしました。

今後は、教職員の皆様には、教育カリキュラムについて検討いただき、また、準備委員会では、開校までは、ソフト面を中心に、協議をいただくこととなります。

来年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。

19:45 閉会